鉄道博物館からのお知らせ

2017年9月15日

鉄道博物館
THE RAILWAY MUSEUM

ナデ6110形式6141号電車が国の重要文化財に指定されました

鉄道博物館 車両ステーション内で収蔵・展示中の「ナデ6110形式6141号電車」が平成29年9月15日付の官報（文部科学省告示第百十七号）において、国の重要文化財に指定されました。

日本の電車の近代化の歴史を後世に伝える貴重な車両として、今後とも保存・展示してまいりますので、みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



車両外観



車内

ナデ6141号電車　概要

■製造年／1914（大正4）年　■製造所／鉄道院新橋工場　■全長／約16m　■定員／92名

ボギー電車（車体前後に首ふりが可能な台車を装着した車両）としては現存最古の車両。総括制御方式の採用により運転士１人で2両以上連結しての運転を可能としたほか、片側3扉を採用したことで都市部の通勤・通学輸送の増大に対応するなど、今日の通勤形電車の原型ともいえる装備をもつ。

参考：鉄道博物館収蔵の国指定重要文化財

■１号機関車（150形式）／1997（平成 9）年指定／車両ステーションで展示中
■鉄道古文書　／2003（平成15）年指定／非公開
■１号御料車（初代）　／2003（平成15）年指定／車両ステーションで展示中
■ナデ6110形式電車　／2017（平成29）年指定／車両ステーションで展示中